NWM 新聞



~Peace be with you の you って誰なんぢゃろ

の活動のヒントになったことでしょ がありました。様々な発表があり今後いるか発表するインフォメーション ことが出来たと思います。 流が終わるのではなく今後に繋げる - 以外にも様々な参加者と交流を深 夜には交流会が行われ、班のメンバ 次に、各教区どんな青年活動をして 連絡先を交換する等、この場で交

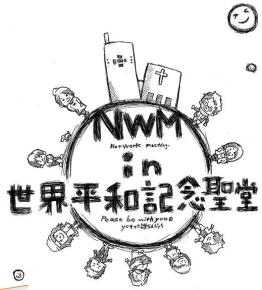
合いが行われました。前日に慰霊碑等 て今どうあるべきか等、各班で分かち 二日目は、平和とは何か、青年とし

平和記念聖堂) に於いてネットワーク ミーティングが行われました。ネット ちが集まり、親交を深め情報交換をす 年と青年の活動を支援している人た ークミーティングとは、全国から青

けて会場に来てくれた人もいました。 加者は百五十名、中には十二時間もか う??」(ここで言う you とは平和 の挨拶を交わす相手のことです)。参 今回のテーマは「Peace be with 一日目は、最初に平和公園やその周

が出来たようです。 りすることで段々と打ち解けること 決めたり、夕飯を食べる場所を決めた 会場へ戻りました。初めて出会った人 たちが話し合いながら回るルートを 辺を班ごとに回り、夕食を食べてから

最後に、ご家庭に対象となる年代の方 していました。 別れを惜しむように固い握手を交わ と言いながら握手を交わしました。皆 のミサが行われました。平和の挨拶を クミーティングについて伝えてあげ がおられる方は是非このネットワー の協力があったからだと思っていま 行えたことは、神父様や信徒の皆さん 交わす時には「Peace be with you」 この様な全国の青年が集まる会を 最後に三末司教様司式による閉会 本当にありがとうございました。



分かち合いをした班が多かったよう

オークラリーをするというプログラムを企画し いうことで、平和公園内を碑めぐりしながらウ フの中で班での交流、さらに、ヒロシマという ことで、平和について何か感じてもらえたらと 今回プログラム1を考えるに当たり、スタッ

食べてきてもらったのですが、「さぁ帰ろう」 物のお好み焼きや、 な豪雨!!皆さんの記憶にも残ったのではないで としたその時、バケツをひっくり返したかの様 しょうか♪ 会場に帰る前には、 つけ麺、 班でそれぞれ、 おむすび?などを 広島の名

とりひとりの心のこもった言葉に感動しまし に来てください!! 会場に帰って書いてくださった感想&写真ひ 機会がありましたらまた是非、 広島に遊び 谷田 佳育

> ちが『ヒロシマの平 との繋がりを感じた 年たちが改めて仲間 和』をきっかけに平和 プログラム2は、今回 NWM に集った青 県外から来た人た

Peace be with you の you が誰なのか、自分なり に行うために、こちらでいくつか具体的なテ みんなで大会のまとめとしてその折り紙でおり の会見を折り紙に書いてもらいました。そして マを用意して話したいものを選んでもらいまし について班で分かち合いをしました。スムーズ で企画しました。具体的には、平和や教会など について思いを深めたりできたら…という思い づるを折りました。そのおりづるはミサで奉納 終盤には、 最後は参加者一人一人にプレゼントしまし 今回の NWM の感想や気づき、

た。いくつかのおり えたら、とてもうれ 青年、これからの自 みると、平和、教会、 も大切にしてもら 教区に帰ってから りました!!ここ たくさん書いてあ テキなコメントが 分などについてス づるを開いて見て で学んだことを各

区分で用いる事としました。

つかの候補に絞り込み、その部分を朗読聖書にある

初難航…。そこで、 体を貫くその意味の深さと広がりに選定作業は当 意的な選択を避ける為です。 定する事としました。各自の平和概念に従った、 しかし、 様な意味か?」を典礼班で学習し、 「主の平和」について学ぶ内に、聖書全 相互に密接な関連を持つ、 次いで皆で選 1

りました。テーマに従い「聖書における平和とはど

初めに…朗読箇所の選定から、ミサの準備は始ま

にも配慮する等、 所やテーマとの関連、その歌が歌われる典礼上の位 聖歌等は、 典礼参加の上で楽しさに寄与する事、 主日の典礼としての相応しさ、 幾度にもわたって討議し選定され 歌い易さ 朗読箇

会を初め多くの方々の協力もあり、青年活動への教 が主司式となりました。また、典礼準備には幟町教 での研修の為、これは実現せず、代理で三末司教様 司教との交わりにも配慮がなされましたが、ロー いう全国の青年が集う行事の独自性と共に、当地の 当初、主司式を前田司教様にお願いし、NWMと 7

だけたと思います。 会の支えを皆様に感じていた

猪口 大記





飯田

知香

の祈り

とができたこと 記念聖堂に集うる NWM で世界平和 感謝を神様に捧 夕の祈りは、



うテゼです。「聖なる霊よ 愛の火を」、「キ 曲 が スタイルは、皆で同じフレーズを繰り返し歌 もらいたいという思いで行いました。祈りの とを振り返りながら、ヒロシマという地から で広島市内を歩いた時に見たこと・感じたこ て、参加された皆さん一人一人に考えてみて : 灯る静かな聖堂の中に参加者の歌声が響 ストの平和」、「すべての人の平和」の三 たお説教の一部を朗読しました。日中、班 2世が来日された際に後楽園球場で行わ を歌い、祈りを捧げました。ろうそくの光 たいという思いと、キリストの平和につい テゼの歌と歌の間では、教皇ヨハネ・パウ とても良い雰囲気だったと思います。

発信されたメッセー す。 だされば嬉しいで ストの平和について ジを聞く中で、キリ ことを思い出してく すことができたので はないでしょうか。 人一人が思い起こ 生活の中でもこの 皆さんがそれぞれ 浦越

> 区内で顔をつないでもらいた 参加者のみなさんに自分の教 めました。 なげて欲しいという思いを込 い、ここから青年の活動につ この思いから、 インフォメーションでは、 今回のイン



考えてきてくださった教区のみなさんには、考えてき ョンの内容を考えていなくても参加できるようにと、 に参加していただきました。そして、 インタビュー形式で行ってみました。もちろん内容を た内容で報告していただいています。 インフォメーシ

時を過ごさせていただきました。 きてくださった教区のみなさんには、楽しいひと ました。個性豊かなインフォメーションを考えて 向けられた参加者の方は、緊張した様子が窺えま したが、その中で青年の活動について話してくれ インフォメーションで突然前に出てマイクを

今回のインフォメーションで青年の活動に参加 している人たちの姿を見て、青年の活動が気にな り始めた、参加してみ

ちを少しでも持っても す。そして、ぜひ青年 らえたらうれしいで ようかな、そんな気持 の活動に顔を出してみ てください。

山田

はるみ

思います!ぜひ次回のNWMでもたくさん あった!)を食べながら話も盛り上がったと グループを作りました。たくさんのお知らせ 話すことが出来る交流会ですが、少しでも新 らいました。それは、好きな人同士で自由に 備したランダムのグループで交流をしても 近年のNWMとは違い、最初にスタッフが準 を話すので時には明け方までずっとしゃべ 毎年行われているネットワークミーティン の人とおしゃべりを楽しんでくださいね☆ や余興とともに、参加者がお土産で持ってき しい人と知り合ってほしいという思いから なりながら話すことができます。お互いの 行事特権のお酒も出るので、少しいい気分に 由に交流をし、話してもらう時間です。 グの中で楽しみにしている人も多い(?) てくれたたくさんの食べ物 っている人もいるんですよ。今回の交流会は 小教区の話や、近況報告。 久々に会った人も初めて会った人も自 (本当にたくさん たくさんの 紗由里







2 班はチェックポイントである嵐の中の母子像へ行ったあと、街中を歩いて袋町小学校を訪れました。子どもたちの元気な声を聞きながら、心を静めて、平和を思う時間を過ごしました。 ご飯を食べたあとは、足をのばして広島城まで行くことに☆ (本当はウォークラリーのルートにはなかったけど(笑)) 帰りは雨に降られながら、走ったり市電に乗ったりして、なんとか教会までたどり着きました。その後、みなさん風邪など引いていませんように。

分かち合いでは、3.11 をどう過ごしていたか、広島の歴史、平和に対する思いなど、短い時間の中でひとりひとりの考えや体験を共有することができました。最後にそれぞれの思いを込めて作った鶴。折り方

に性格が表れていて、 面白いねぇとみんなで 笑いあいました。頼り ないスタッフを温かく 見守ってくれた2班の みなさん、ありがとう ございました。





1班のメンバーは和やかでいつも笑顔が絶えなかったです。夕食の時もみんなでお好み焼きを食べ、写真を取り合っていました。

1班の活動の中で特に印象的だったのが、プログラム①のウォークラリーです。みんなでワイワイ話しながらも、説明を聞くときや建造物を見ているときなどは静かに「平和」について考えていました。感想で

「Peace be with you の you って誰なのかをずっと 考えながら回っていた」という人もいて、大変有意義 な時間を過ごせたと個人的に思います。

また、分かち合いでは、「平和」に関する様々な思い や考えを語り合いました。一人ひとり「平和」に対す る思いが違ったり、自分たちのすべきことについて話 し合ったりととても深い分かち合いができました。



ふがいない僕でしたが、みなさんのおかげで最高の時間を 過ごせました。本当にありがとうございます!

高田 雄太

4班

4班はアオギリの木に行きました。そして、アオギリの生命力に感動しつつアオギリの歌を聞きました。原爆資料館ではみんながゆっくりと見て回りたくさんのことを学んだと思います。その後も平和公園内をぐるっと見てまわり帰りました。ご飯はばくだん屋(つけ麺のお店)で食べました。そのころには、みんな緊張もほぐれたようで、わいわい仲良くしゃ



べっていました。帰りは 雨が降っていたので、 た。で、 したのでまりまりまりまりまりまりまりまりまけれる。いい出になりではないで を会について多く話しないでもないである。 もいい時間を過ごせないますが聞ばせまりますが間が過ごせまけがはままが聞ばせままがよる。 をく、とてもおとといいでまるといいなと思いま

す!!

糸原 和希

3班

3班では、平和公園を巡る時間に原爆死没者慰霊碑をスタートとし、主に平和公園の北半分を回りました。そのとき参加者の皆さんにも各慰霊碑等の説明を読み上げて頂き、その説明に真剣に耳を傾けていた姿がとても印象に残っています。また、移動中には誰の口からも会話が絶えることなく、初日から楽しい時間を過ごすことができました。そして、僕が一番印象に残っているのはわかちあいの時間です。様々なテーマがありましたが、その中でも各地の青年がどのような活動をしているのか、ということや逆に活動ができていないという悩みなど多くの話を聞く事ができ時間が足りなくなるほど盛り上がったわかちあいは、僕にとって大変刺激になりました。まだ NWM に参加し

たことのない人に は今後ぜひ参加し て頂いて、僕が NWMで感じた気 持ちを少しでも感 じて頂けたらと思 います。

肥喜里 徹



6 班は、キャラクターも年齢(実際聞いたわけじゃないが…)もわりと異なったメンバーで常に笑顔のある班で、最初の自己紹介からわいわいとしゃべれたのではと思います。プログラム1では、移動中は各々雑談(マクドナルドの呼び方とか笑)を楽しみ、平和公園内は、ほとんどのチェックポイントやそのほか気になった場所を回るなどとてもメリハリのついた班で、充実した時間を過ごせたと思います。晩御飯は教会近くのみっちゃんへ!!注文前には、おススメのトッピングやメニューの呼び方、注文後はお好み焼きを作る工程を見て盛り上がりました。味にも満足したようでした。

分かち合いでは、参加回数や今回の参加理由、また「Peace be with you」についていろいろな切り口から 意見を交わしあいました。分かち合い中も時折笑いが



出るなど楽しい雰囲 気の中分かち合うことができました。全 体を通して、メリハ リよく楽しく真剣に 活動でき、仲良くなれたと思います。

岸井直也

8 班

初参加が多い班でしたが、皆積極的に参加して頂いて和やかに過ごすことができました。平和公園散策ではレストハウスを皮切りに 10 か所以上を巡り、他の班と合同で説明を受け、平和について考える時間を過ごしました。夕食では広島名物お好み村へ。初めて広島風お好み焼きを食べる人もいたので、『コテ』での食べ方を伝授したりと、名物に舌鼓を打ちながら過ごしました。分かち合いでは、主に各地区の中高生・青年会の活動の状況、あり方についてのテーマで話し合い、各地区での取り組みを伝え、自分たちの地区がより盛り上がるように意見を交わし、皆が抱える同じよりな地区の悩みを分かち合い、時間オーバーになる程の実りある時間を共有することができました。皆様のおかげで良き時間を過ごせました。ほんと感謝です!また、次のNWMでお会いしましょう!! 藤原 忠



初スタッフということで班の参加者の皆様に助けられることが多かったように思います。まずは感謝です。プログラム1では市内の袋町小学校からはじまり原爆ドームを中心に周ることができました。早めの夕食も皆で楽しく食べることができました。幟町教会への帰りに雨に降られるというアクシデントはありましたが、なんとか無事に終えることができました。歩きながら、食べながら、コーヒーを飲みながらの会話でしたが終始会話が弾んでいたように思います。プログラム2の分かち合いでは、初めから終わりまでとても濃密な時間をすごす事ができたと思います。参加者それぞれにとっての気づきになったのではないでしょうか。正直、時間が足りなか



ったなぁーと いうのがスタ ッフとしてで すが、一参加者 として感じた ことです。

山下 健吾

7班

私自身初めての NWM でスタッフ参加ということで、至らない点がたくさんある中、班のみんながいつも優しく助けてくれました!プログラム 1 では真っ先に原爆ドームへ向かいました。初めて原爆ドームを訪れた方が多く、実物を目の当たりにしたときのみなさんの表情を印象深く覚えています。その他のチェックポイントでも各慰霊碑等の説明をとても真剣に聞いてくださり、各々が平和について考え、受け止め、祈ることができました。その後はお好み焼きを食べたり、雨に濡れながら路面電車に乗ったり、広島を感じることができたのではと思います。プログラム 2 でも、それぞれの立場で感じているこ



と、思っていることを共 に分かち合うことができ ました。最後にきちんと 班のみんなとお別れでき なかったことを悔やみき れませんが・・・またどこ かで会えると信じて!2 日間本当にありがとうご ざいました!

橋口 友実

開会式後の自己紹介の時は噛みまくりのスタッフ のフォローをしてくれたり、プログラム1ではチェッ クポイント以外の場所も色々見たいと提案しくれた り本当に助かりました。

晩御飯の時にはみんな自然と打ち解けていたので、 ワイワイ楽しいご飯が食べれました。分かち合いで は、ファシリテータの人がすごく上手に先導してくれ たのと班員みんなが、すごく自然に話していたので、 個人的にはすごく満足した分かち合いでした。自己紹 介の時から閉会式の時まで助けてくれた 10 班のみん なに感謝です。 谷田 恒平



12班

12 班はどちらかと言えば若い参加者が多く、NWMの間ずっと楽しいムードで過ごすことができました。平和公園の散策で動員学徒慰霊塔から始まり、被爆アオギリ、嵐の中の母子像などを回って説明をしている時は全員真剣な表情を見せてくれました。晩御飯はお好み焼きを食べ、みんなでワイワイ楽しめました。分かち合いの時には班員のフォローのおかげで、Peace be with you とは誰か、「青年」は何歳くらいまでか、といった様々なテーマについて各々の率直な意見が

飛び交う素晴らしい分かち合いになったと思います。 班員のみなさんに 感謝しっぱなしの NWMでした。また会える日を楽し みにしています。 古賀健人



「平和」を中心に置いた中での分かち合いや平和公園 散策で、一人一人がそれぞれの価値観で「平和」と向 き合うことが出来たように感じます。平和公園の中 を歩いている中でも互いの事を話し合うことがで き、またその途中に、偶然虹を見ることが出来まし た。その光景に出会った時、ささやかな時間の中に 改めて平和の存在を感じ、その瞬間を共にすること で、会話以上の心のつながりも感じることができま した。

分かち合いの時間には、互いの教区での悩みや活動、それに対して互いが意見を交わすことで、一人 一人が思いを発言できる良い時間となり有意義な分

かち合いになりました。 「平和」についての意見を 交わすことで、「平和」が 始まり、さらにそれを共 有することで、「平和」の 広がりを感じることが き、このつながりが、次 回の NWM でも、さらに 広く強いものになること を願っています。



森 祐太郎

11班

11 班は、プログラム1では平和記念公園内をまわりました。慰霊碑の前で説明に耳を傾ける時、目を閉じて手を合わせている時、言葉を交わしていなくても祈る気持ちが重なるのを感じました。二日目の分かち合いは、不思議な雰囲気だったなあと思います。仲間があの時話してくれたこと、沈黙したり、笑ったり、涙したこと、きっと忘れないだろうと思うことが沢山あります。自分が持つ心の平和を分かち合うことで、隣にいる誰か、そのさらに隣にいる誰かにも平和を贈ることが出来ると感じさせられました。二日間をともに過ごす中で、班のメンバーー人一人が、自分らしい形で、優しさや強さをみんなに届けてくれていたことが心に残っています。

井上 友里子



「テーマソング」

Peace be with you ~笑顔になれる魔法の言葉~

今回、テーマソングを作る上でどうしてもこだわりたい部分が二つ。「歌いやすく親しみやすい歌にすること、みんなが笑顔になれるような歌にすること」ただそれだけを考え、スタッフから Peace be with youに対する各々のイメージを聞き、イメージを崩さず、かつ表現しやすく、伝わりやすい言葉を捜し、今を生きる私達に出来る事や、同じ場所で同じ時間を共有する仲間を想い、祈りという部分において、歌として捧げる事が出来るというのはとても大切なことだと改めて実感させられながらテーマソングを作りました。

テーマソング自体あまり露出することが出来ず、皆 さんと一緒に歌えたのが最後の一回だけという点にお いては非常に残念ではありましたが、歌いながら心の 平和を実感し、笑顔になれる歌にできたのではないか と思います。

今回の NWM に携わった全ての人の想いを、私なりの表現ですが一曲の歌にして、皆さんに歌っていただいたこと、心から感謝しています。「Peace be with you 主の平和がいつも皆さんと共に」この言葉が、皆さんの心にいつでも笑顔を作れる言葉だと私は信じています。不安や迷いがあった時には思い出してみてください。きっと、乗り越えられる力が沸いてくると思います。

13班

初日は駆け足ながら平和公園内の主な記念碑を一通り回ることができました。初めて平和公園を訪れた人、何度か訪れたことのある人いましたが、それぞれにみな、色々なことを感じれたようでした。公園を回った後は近くのお好み焼き屋へ。

少し早い時間だったのでガラ空きの店内でカープ 中継を見ながらお好み焼き。としっかり広島を満喫 (笑)のんびりと公園めぐりの感想やお互いの話に盛 り上がりました。二日目の分かち合いでは日々の生 活の中で信者としてどのように過ごしているかや、 教会との関わり方などについて話しました。また、



アフリカから来ているシスターからアフリカの信者の生活や 国の情勢の話なども 聞けて、日本との比 較で考えるという貴 重な時間が持てました。

岡本 大吾







"同い過51もくり返しませんから"、、、 沢山しろれながをまわりましてか、このコトバかり 一番心に響きましてこの

私達にできること… 平和を続けていこと… 私にてできることはかかことですと、10/0の小さな平和が合めさって大きな平和になって ので、言能が平和な道具に私もなれてら しいなるへと思いましてこの

笑参良をなめないきてこいる 戦争をたれない!

平和って誰のためにあるかるのだ。

ヒロシマの歴史、そして 平和への願いや たいを 1本で 感じることが できました。 最後は雨にみられたけどい 最高の野い出です (1)のの

広島に来たのが修学旅行以来8年25月で、あめて広島市内で回ることが出来ました。

市内所生が穏電神市就ながり、電力活動を行う中高生をいたりと平和への新りが本当に強いた でおて気のまといなりと平和への新りが本当に強いと であるであることがも来まれた。

最終的にとく十降りの中ワーワーショなから帰去けれど色対にたれらよないな島観光にかまける

セ、タイ思、出口かること、問意、ひいです。 たみしかたーリ

悲惨なことが起こった場所ださいうのに、とても静かできれいだった。でも、多くの人の無念させ苦しみかいたいることを知り行い、行動することの必要性を感じた。 平和(は自分なころで求めていかないといけないなー。

プログラム1で寄せられたメッセージ (抜粋)

ネットワークミーティング(NWM)とは

目的 一「情報交換と交流」

カトリックの青年、青年の活動を支えている信徒・修道者・司祭が自由に集い、そこで今かかえている問題や信仰のこと等を分かち合い、交流する場であるとともに、いろいろな地域の青年や活動している青年と出会い、情報交換の場として、年2回、教区持ち回りで開催されています。

http://catholicyouth.jp/nwm/



参加4回目のNWMということでまた色々な繋がりを楽しみに広島に来ました。再会や出会いに喜びながら、PEACE BE WITH YOU について初めて向き合う機会になりました。原爆の跡を見て学び、原爆のこのとき、平和ってどこにあったのかなって、平和ってなんだろかって考えさせられました。まだ答えはわからないのでこれからも求めていきます。平和の挨拶についてグループで分かち合えたことで、「主の平和!」と示うときに、もっともっと相

で、「主の平和!」と云うときに、もっともっと相手のことを想い、祈ることが出来るなと気付くきっかけになり、わくわくしました!

さっそく NWM 最後の日のミサから「peace be with you!」とか「シャローム!」とかいろんな言葉で今回繋がれたみんなに感謝しながら挨拶を交わせたのが嬉しかった!少し涼しくなってきた北海道から溶けそうな暑さの広島に飛び、常時、首にタオルを巻きながらも、広島という地で、おいしいもの食べたりしながらみんなと神様と共にいられてたくさんのお恵みがあって、とっても素敵な NWM でした!やっぱり NWM はキリストを通して全国各地の素敵な繋がりが生まれてわたしの支えになってます。今回企画運営してくれた方々に感謝します!

みなさんありがとうございました!シャローム!

札幌教区 小山内 舞





社会人になって1年半、病棟看護師として働いて いるため勤務は不規則であり、毎週のミサどころか 復活祭やクリスマスでさえ教会に行けていません。 そんなわたしですが、会長であった恒大さんから声 を掛けていただき、今回NWに初めて参加すること になりました。NWMは様々な教区の青年たちの情 報交換の場として、開催されているそうです。プロ グラムの中にはそれぞれの教区が実際に行っている 活動について発表し合うものがありました。発表を 聞いていると、どの教区も熱心に青年活動に取り組 んでいることがわかりました。仕事で精一杯、休み の日も研修や勉強会のことがある、だから何もない 休みの日は自由に過ごしたい!!!そんな考え方のわた しにとって教会活動に一生懸命になっている人は、 ただ「偉いなー」と感じてしまいます。今は今の生 活で精一杯であり、教会なんて、青年活動なんて… と思っていますが、生活にゆとりが出てきたら、地 元で青年たちに呼びかけるとともに、またNWMに 参加し、様々な教区で行っている活動を行えるよう 繋げていきたいと思います。

高松教区 西宮 園美





作 成:第23回ネットワークミーティング in 世界平和記念聖堂 実行委員会

発行元:カトリック青年連絡協議会

ホームページ: http://seinen.hiroshima-diocese.net/~nwm2012/

Eメール: 23thNWMinMCWP@gmail.com

